

リゾート会員権8%高

10月、5カ月連続で上昇

リゾート会員権の販売を仲介するe会員権(横浜市)がまとめた10月の会員権の平均価格は、前月比25万円(8%)高い358万円だった。上昇は5カ月連続。リゾートトラストが12月から名義変更料の値上げを予定し

ており、駆け込みで購入する動きが目立った。リゾート会員権は會員制のホテルや施設を利用できる権利で、仲介会社などを通じて購入する。会員権の保有者は年会費などを支払い、年間の規定の日数まで安く宿泊で

きる。価格は基本的に、市場に出ている売り希望値ベースで算出される。リゾートトラストが12月1日から、会員権保有者が第三者に会員権を譲渡する際の名義書き換え料の値上げを予定してお

り、駆け込み需要が出た。エクシブやベイコート倶楽部の値上げ幅は税込み11万円。同社は部材費、郵送費、人件費などが年々上昇しており、「これを吸収しながら名義書き換え業務の質を維持することが難しい状況」と発表している。

「低価格帯の会員権保有者にとっては値上げ幅が大きいとの見方もあった」(e会員権の涌井智子代表)といい、10月の値上がり件数は37件と前

月比で5件増加した。個別要因もある。2020年に開業した横浜ベイコート倶楽部(横浜市)が市場での会員権譲渡の禁止期間を終え、9月下旬から市場で取引できるようになったことだ。

横浜ベイコート倶楽部の会員権は、他のベイコート倶楽部よりも高い価格で市場に出たもよう。で、価格帯別では10月に、300万円以上の高価格帯の会員権が全取引に占める割合が45%と、前月比で17%上昇した。

日経平均株価が10月に史上初の5万円台に乗せたことも会員権購入につながったとの声もある。